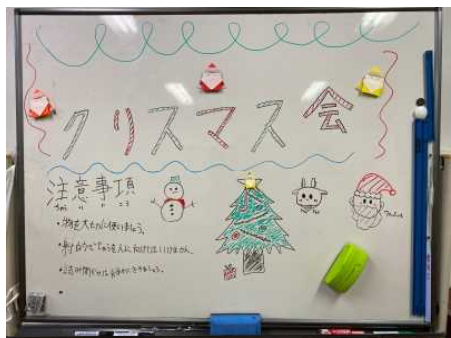


《第109回》 秋津レークタウン子ども会(2) 「クリスマス会」

育成会会長 本門 絵美、渡邊 加奈子



令和6年12月22日(日) 9:30~11:30 秋津レークタウン公民館でクリスマス会を開催しました。児童は25人、保護者役員5人が参加し、秋津レークタウンみずべ文庫の方4人が読み聞かせのために来て下さいました。

6年生による司会、挨拶で会が始まりました。ホワイトボードの記入や、折り紙のサンタなどは子ども達が準備しました。

最初は、みずべ文庫の方に『ぐりとぐらのおきやくさま』というクリスマスの絵本の読み聞かせをしていただきました。目

をつぶっていても情景が分かるような感情を込めての素晴らしい朗読でした。更に今回は、保護者の方が電子ピアノでその場面に合った曲や効果音を弾いて下さったり、文庫の方がペープサート(紙人形劇)で場面を表したりして下さい、音と動きで一段と素晴らしい読み聞かせの会になりました。子ども達もその物語に引き込まれているようでした。出演された5人の皆様ありがとうございました。

読み聞かせを楽しんだ後は、いよいよゲームです。6年生がゲームのルール説明をしてビンゴゲームを開始しました。その後は、熊本市子ども会育成協議会からお借りした射的やディスゲッター、輪投げをして遊びました。ディスゲッターの場合はフリスビーを投げる距離を低・中・高学年用と変え、輪投げも学年で距離を変えました。なげる距離・回数などのルールも皆、子どもの役員で決めて子ども達が運営しました。最後はジャンケン大会で楽しみました。それぞれに景品があり、一喜一憂して大変盛り上がりました。終わりの挨拶も6年生が行いました。

2時間の活動時間でしたが、内容が盛り沢山で楽しいクリスマスの会となりました。皆さんのご協力ありがとうございました。



秋津レークタウン子ども会は年間にたくさん行事をしてきましたが、本年度は初めて活動報告をしました。年度の初めに保護者の役員と子どもの役員で会議(親子会議)をして、子どもの希望で一年間の活動内容を決めています。保護者は活動の準備の支援をしますが、運営は子どもが中心になって行っています。これからも時々活動の紹介ができれば良いなと思っています。



開会式



ビンゴ景品

(ビンゴの人から順に選ぶ)
(文具の手作り詰め合わせ)





ペープサート（紙人形劇）



朗読

ピアノ

紙人形

背景

紙人形





↑ビンゴゲーム



デイスゲッター



輪投げ



射的

《事務局から》

事務局長 白石 和典

- ① 早速の活動報告ありがとうございました。盛り沢山の楽しい内容でしたので2時間では足りないくらいだったことでしょう。
- ② 今回地域の方の読み聞かせは大変素晴らしい企画でした。絵本選び、ピアノ演奏、ペープサート等の読み聞かせの内容は文庫の方とピアノの得意な保護者を交えて構成されたようです。子ども会のために地域の方の協力がすごいですね。構成へのきめ細やかな配慮に敬意を表します。子どもたちも幸せですね。そして、子どもたちもこの様な体験を通して朗読の仕方、ペープサートなどを次第に関心を持ち、技術も身につけていくことでしょう。
- ③ 子ども会の年間の活動内容は、子ども役員と大人役員の親子会議で、子どもの希望で決め、子ども主体で運営するそうですが、子ども主体の取り組みも素晴らしいです。熊本市子協の理念の一つである「子どもによる 子どものための 子ども会活動」の実践です。
市子協総会時、一昨年「子どものやる気を引き出すために大人ができること」、昨年「子どもの『やってみたい!』をサポートする大人の役割」のテーマで講演された関西大学次世代博士研究員：東海大学非常勤講師（現在は熊本学園大学助教）の田中晶子先生が、「動機づけ（やってみたい）を高める3欲求」について話されました。自分で決めた!「自立性への欲求」、達成感があった!「有能性への欲求」、お友達と一緒にやった!、大人が見守っていた!「関係性への欲求」という内容でした。今回の活動は正にその全てが当てはまる活動だったと思います。
- ④ 秋津レークタウン子ども会の益々のご活躍と、子ども達の健やかな成長をお祈りいたします。